

議事次第

- (1) 開 会
- (2) 社側挨拶 上田良樹社長
- (3) 番組視聴 テレビ番組
 JNN共同制作番組「ふぞろいの魚たち」
 (平成22年2月11日 木曜日放送)
- (4) 番組審議
- (5) 閉 会

議事の概要

長崎放送の番組審議会は2月23日(火)に第505回の審議会を開いた。冒頭、上田社長は、2月21日に投開票が行われた長崎県知事選挙について、社の取材体制、及び放送対応について報告するとともに、今後は雇用の低迷や人口減少など閉塞感が広がる長崎県の経済がどのように変わってゆくのか幅広い報道活動を継続してゆきたいこと。さらに、今月11日にNBC制作のJNN共同制作番組「ふぞろいの魚たち」が全国放送されことなどを報告。その後、このJNN共同制作番組「ふぞろいの魚たち」を視聴した。この番組は、生き残りをかけて様々な工夫をしながら魚を獲っている長崎の漁師たちの姿や低迷する魚価を安定させようと、中国・上海に鮮魚を売り込む長崎魚市の姿、さらに魚食環境が変わろうとしている中国の現状を描いたもの。出演は俳優・金子昇。語りさだまさし。委員からは概ね以下のような意見があった。

- 番組のテンポがいい。サンマ漁をはじめ映像に圧倒されるものがあった。
- 漁業そのものの大変さや養殖の難しさ、上海へ活路を見出そうとしている関係者の努力、上海での日本の活魚の広がりなど、漁業の現状とともに今後の展望を知ることができた。またこうした現状を伝えつつも、決して難しい番組はなく見ていて楽しい娯楽番組として仕上がっている。
- 一方で、鮮魚の活路をなぜ上海に見出さなければならなかったのか、そもそもなぜ魚離れ、魚価の低迷が続いているのかなどといった面にも触れてほしかった。
- 漁業のいろいろな現状を盛り込んでいるのがいい反面、若干盛り込みすぎた感もある。もう少しテーマを絞り込んでもよかったかもしれない。
- 「ふぞろいの魚たち」というタイトルになっているが、番組で取り上げている魚は高級魚が多く形も整っている。タイトルと番組内容に少し違和感がある。
- 日本の食文化が上海に広がっている現状を見ると、日本食や日本文化を生かし、上海などで若い人たちの職場の開拓、雇用の確保ができるのではないか。そうした世界観が必要だと感じさせる番組だった。

出席委員(敬称略)

藤木博委員長	高橋信雄委員	中田慶子委員
佐々木達也委員	坂本信吾委員	岩永和登委員

社側出席者

代表取締役会長	富田忠溥
代表取締役社長	上田良樹
専務取締役	佐藤 修
取締役報道局長	財前 博
ラジオ局長	仁田豊文
テレビ局長	藤井 潤
番組プロデューサー	大野陽一郎
番組ディレクター	白壁史朗
事務局・役員室審議部長	杉野隆行

長崎放送番組審議会事務局 電話：095-820-1010 E-Mail: yakuin@nbc-nagasaki.co.jp 
